



(7)遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）
新受講者の拡大。周知方法の工夫。

(8)改善実績（過去3年間の実績）
アンケートを参考に、次回以降の講座に反映する。

(9)業務の評価（自己診断）		
評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	4 点
コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	4 点
業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	4 点
住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	4 点
総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	4 点
他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	5 点
		平均 4.2点

(10)総合評価（課の見解）	
今後の方向 (該当番号に○印)	<ol style="list-style-type: none"> <li>①. 前年度と同じく、そのまま継続する。</li> <li>2. 見直して継続（業務の拡大）</li> <li>3. 見直して継続（業務の縮小）</li> <li>4. 見直して継続（方法の改善）</li> <li>5. 見直して継続（他業務と統合）</li> <li>6. 廃止する。</li> <li>7. 休止する。</li> </ol>
評価理由	65歳以上の高齢者は毎年約400人増加傾向にあるが、初心者向け講座のため受講生は新しく入れ替わるため

(11)今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）
高齢者の生きがいづくりとして浸透してきている。目標が達成されている。